

事務事業名		健康教育相談事業費		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	健康福祉部
総合計画体系	基本政策	2	支えあい健やかに暮らせる健康長寿のまちづくり	課・室	健康づくり課
	政策	01	健康長寿のまちづくり	係	健康管理係
	施策	01	健康寿命の延伸	内線電話	241
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	4款	衛生費	未計上	
	項	1項	保健衛生費	実施期間	
	目	2目	健康づくり推進費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	市民	市民自らが「自分の健康は自分で守る」という自覚を持ち、自発的に健康づくりに取り組めるようにする。	
現状・課題	糖尿病とその予備軍の者が多いため、糖尿病の発症及び重症化を予防することが必要であり、それらの改善に当たり、食と運動を中心とした生活習慣の改善対策が重要となっている。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	健康増進法	
事務事業概要	生活習慣病の予防及び心身の健康に関し、健康教育・健康相談を行う。		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	健康教育事業		260回
	健康相談事業		590回
	自殺対策講演会（はつらつ健康教育、いきいき健康講座ほか）		4回

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	5,319,000	7,728,000
補正・流用等		円		-13,000	-	
合計		円	5,319,000	7,715,000	4,450,000	
決算（見込）額 A			円	4,648,801	7,219,000	-
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円	754,000	1,817,000	1,629,000
		市債	円			
		その他特定財源	円	26,000	345,000	351,000
一般財源		円	3,868,801	5,057,000	2,470,000	
正規職員数		人	3.43	4.18	3.86	
人件費 B		円	22,068,620	26,927,560	24,866,120	
総事業費 A+B		円	26,717,421	34,146,560	29,316,120	
市民1人当たりコスト		円	625	803	692	

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
出張！健康づくり隊		維持	目標	延800	人	延800	人	延800	人
			成果	延899	人		人	-	
自殺対策講演会参加者数		維持	目標	延200	人	延200	人	延250	人
			成果	延362	人		人	-	
成果指標と目標値を設定した理由	食と運動を中心とした生活習慣の改善は、若年期からの対策が重要であることから、イベントの参加者を対象とした健康教育を実施するため。また、自殺予防のため知識を普及するため。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	若年及び働き盛りの世代を中心に、生涯を通じたライフステージで疾患の発症及び重症化予防ができるよう、啓発を行う。						

